



肝胆膵疾患における検査

JCHO東京高輪病院
検査室技師長 高橋 弘

東京高輪病院中央検査室

1. 検体検査部門

2. 生理検査部門

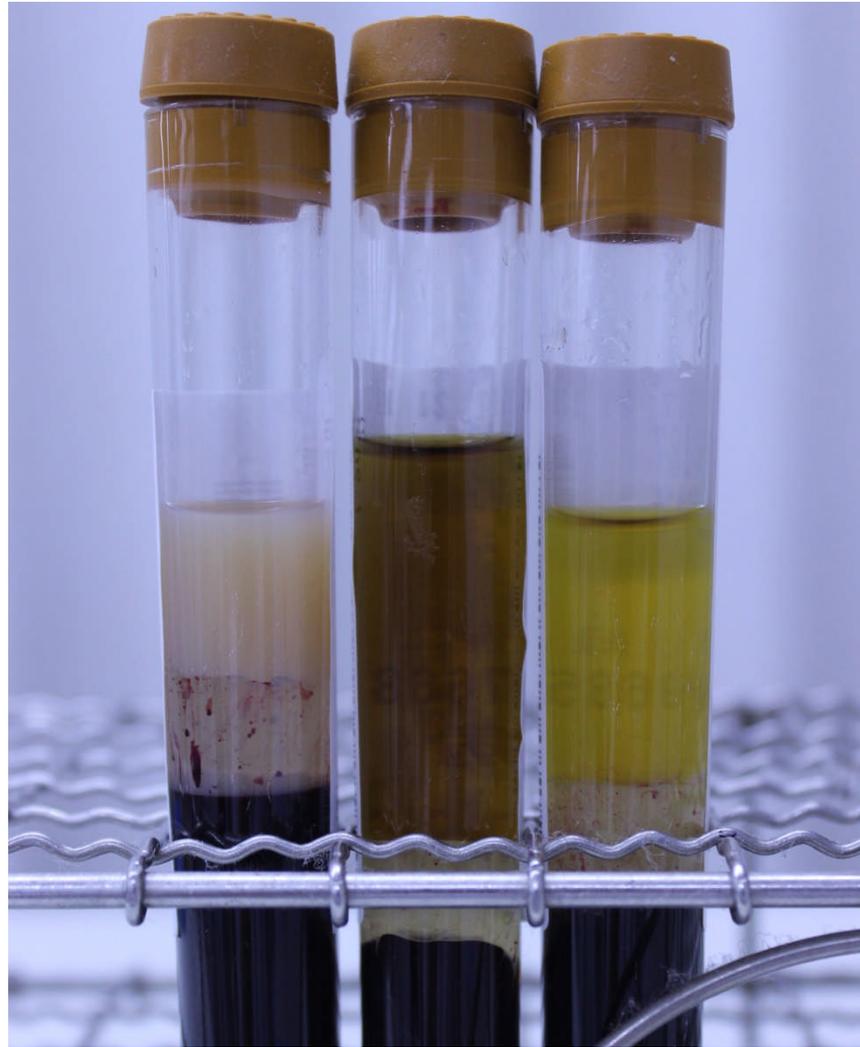
3. 病理検査部門

1. 検体検査部門

- 早朝**7時**業務開始（シフト体制）
 - 外来採血（**8時**開始）
（診療開始時間の**8:45**に結果報告を間に合わせるため）
 - 検査材料 → 血液・尿・便・穿刺液等
 - **45分**以内での処理検査項目数は約100項目
- ※ 医師は症状と、血液検査での結果 から疑わしき疾患を絞り込みます。
（血液検査で概ね70~99%程度の診断確率）







中性脂肪・ビリルビン

2.生理検査部門

・超音波・心電図・脳波・呼吸機能・etc



【心臓、腹部、頸動脈、腎動脈、下肢動脈静脈、乳腺、甲状腺、表在】

血液検査のデータから、異常と思われる部位の状態を超音波画像を参考にして更に精査する。

- ※・超音波検査は人体へは**無害**なため妊婦の方なども安心して受けられる。
- ・痛みや苦痛が全くなく、時間も10分から30分程で終了。
- ・予約以外の検査依頼も必要に応じて柔軟に対応。



3. 病理検査部門（病理診断科）

・検査材料

- ① 手術や内視鏡検査で採取された臓器や組織（組織学的検査）
- ② 喀痰、尿、腹水、胸水（細胞学的検査）

・業務内容

標本作製、細胞診スクリーニング、病理解剖。（検査技師）

顕微鏡下での組織診断、病理解剖、**病理相談**。（病理医）

※常時、病理医が常駐しているため結果報告が速い。

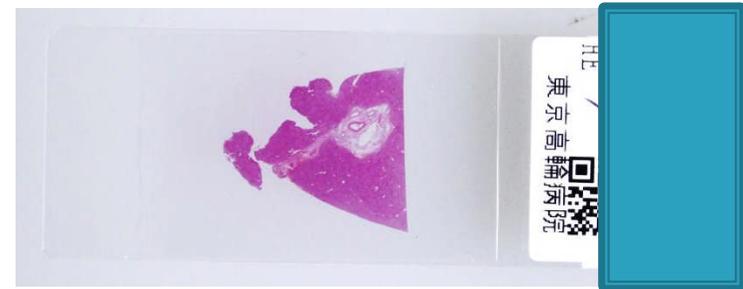
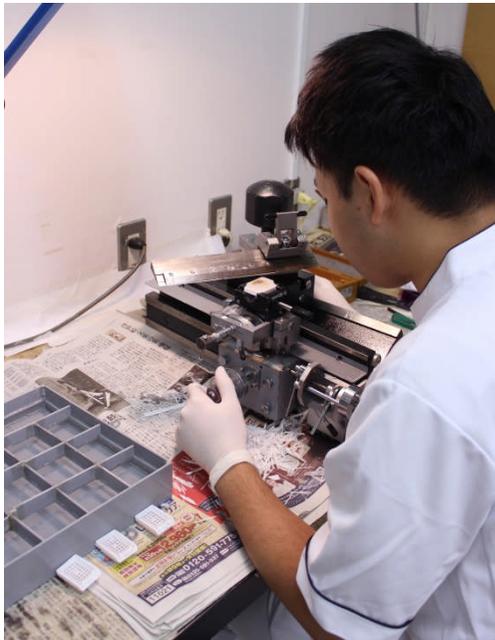
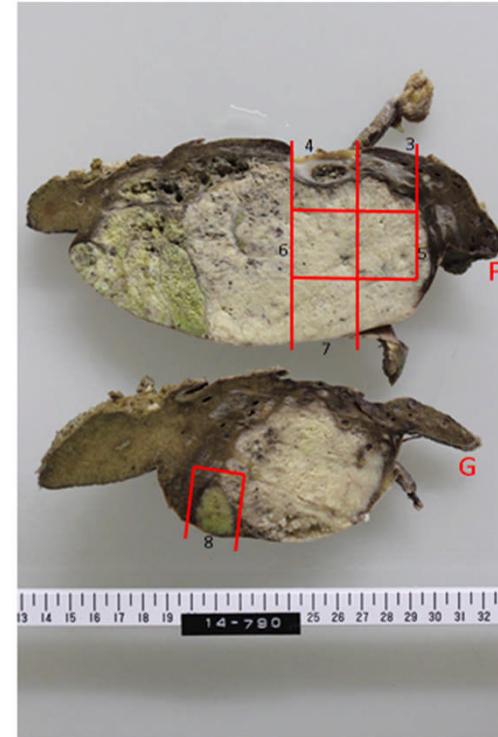
手術材料 → 1週間程度

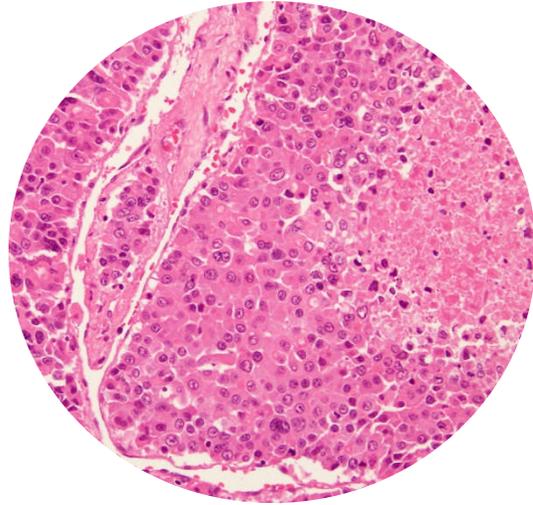
内視鏡検体 → 2~3日程度

・**病理相談**

癌を宣告された患者さんに対して、最も有効な治療方針へのアドバイスや、どんな特性を持った癌なのかを専門的な立場から、病理医がわかりやすく説明。（無料）

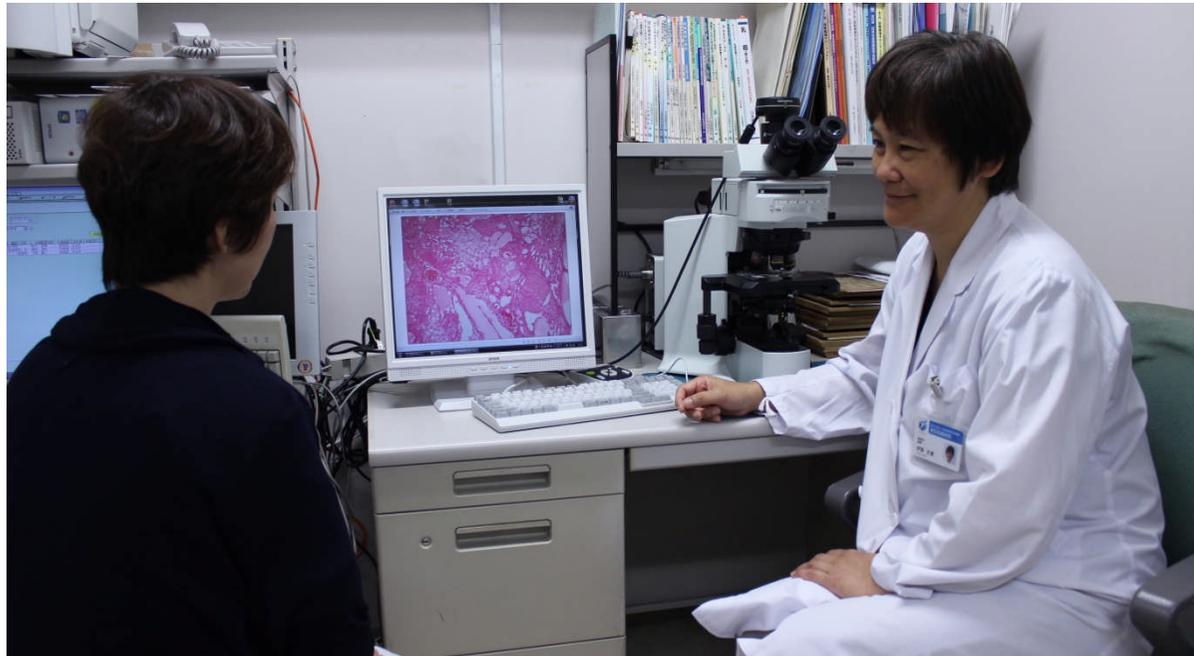
病理組織検査(病理診断)





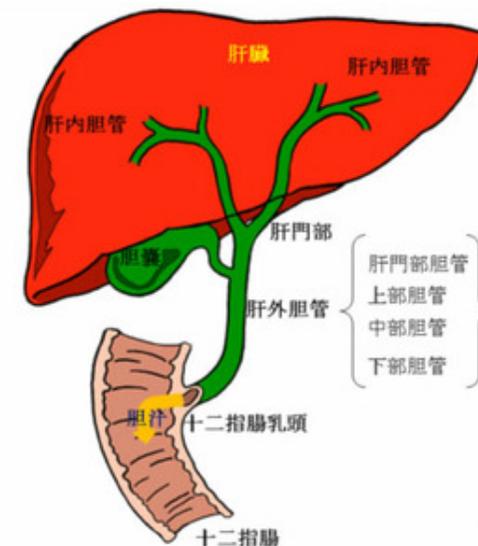
病理診断報告書

病理相談



血液検査でわかること

肝機能検査



1. 肝細胞の障害を反映するもの
2. 胆汁のうっ滞などを反映するもの
3. 肝臓の予備能を反映するもの
4. 腫瘍マーカー

肝機能検査

1. 肝細胞の障害を反映するもの

AST、ALT、LDH 等

肝細胞の破壊により血液中に出る。

※高くなると注意！

肝機能検査

2.胆汁のうっ滞などを反映するもの。

ALP、LAP、 γ -GTP、ビリルビン、

※高くなると注意！

肝機能検査

3.肝臓の予備能を反映するもの

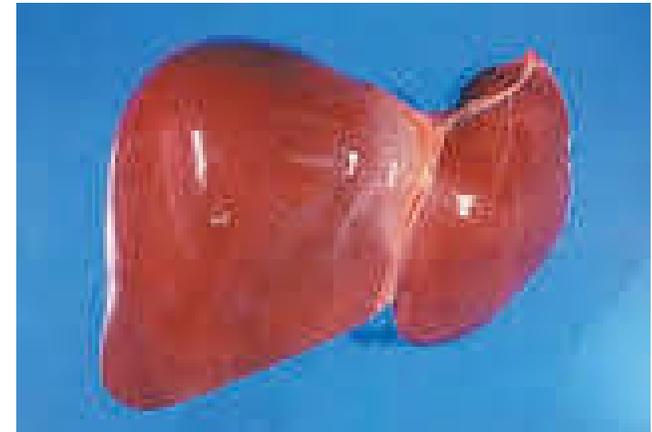
アルブミン、コリンエステラーゼ、総コレステロール、プロトロンビン時間、血小板

※低くなると注意！

肝臓の腫瘍マーカー

AFP、PIVKA-II

※癌以外の肝疾患でも上昇する！



Precision Pure



肝機能検査 まとめ

肝臓の検査は4つに大別される。
腫瘍マーカーは高いからと言って
がんとは限らない。また、**初期の癌で
は検出されにくい。**

血液検査、画像検査、病理検査等を組み合わせて病態を判断していく必要がある。

膵機能検査

1.膵臓の機能異常を反映するもの アミラーゼ・リパーゼ・トリプシン・膵PLA2

急性膵炎、慢性膵炎などで高くなる。

2.膵臓の腫瘍マーカー

CA19-9、CEA、DUPAN-2、エラスターゼ1

※初期の癌では検出されにくい！

胆道系検査

1.胆道系の機能異常を反映するもの

炎症、胆石、胆道系の腫瘍などで上昇する物質

ALP、 γ -GTP、LAP、ビリルビン

2.胆道系の腫瘍マーカー

CEA、CA19-9

※ 初期の癌では検出されにくい！

血液検査の基準値について

基準値とは概ね健康と思われる95%の人が当てはまる数値である。よって、5%の人は基準値から外れる。

外れたからといって必ず病気と結びつけられるものではなく体質的な可能性も考えられる。大切なのは、健康診断などを活用して普段の健康な状態での自分の各検査項目における数値を知っておくことである。年1回は、健康診断を受診なさることをお薦めします。

また、特に腫瘍マーカーにおいては検査方法、機器の種類、試薬の種類などによって施設ごとに基準値が異なるので注意が必要である。

早期診断早期治療そして早期退院。

当院中央検査室では、各専門分野に精通したベテランの技師と最新鋭の検査機器を活用することで、来院したその日のうちに、必要とされる検査は実施可能な体制を確立しております。体調に異常を感じられるようなことがありましたらぜひ当院を受診していただくことをお奨めします。

また8階健康管理センターで健診を受けられた場合においても、万一治療の必要な検査結果が確認された場合には、お帰りになる前に当院専門外来を受診していただく体制も整っておりますので是非ご利用下さい。

お知らせ

最近新たに開発された、血液を用いたの消化器癌スクリーニング検査および癌リスク判定検査を開始します。

1) マイクロアレイ (RNA遺伝子)

対象 ・胃癌・大腸癌・膵臓癌・胆道癌

2) アミノインデックス (アミノ酸配列)

対象 ・胃癌・肺癌・大腸癌・膵臓癌・前立腺癌
・乳癌・子宮癌・卵巣癌

3) Cologic (脂肪酸GTA-446)

対象 ・大腸癌

4) PanC (タンパク質)

対象 ・膵臓癌

御清聴ありがとうございました。